

公益社団法人 日本技術士会中部本部 電気電子情報工学部会

2 月度例会のご案内

【主催】中部本部 電気電子情報工学部会

当部会では、定期的に例会（講演会、オンライン講演会、見学会）を実施しており、今回 2 月度の例会を下記のように企画しましたのでご案内申し上げます。

今回は、中部エレクトロニクス振興会のバーチャル展示会の紹介、ウェアラブル生体デバイスと EMC に関する 2 つの講演及び名古屋工業大学の未来通信研究センターの見学を対面（リアル）形式で実施します。

中部本部 電気電子情報工学部会の会員に限らず、多くの皆様の参加をお待ちしております。

記

- 1. 日時** : 令和6年2月17日（土） 13:30～17:00
- 2. 場所** : 名古屋工業大学 4号館2階 会議室2 （Web 配信は行いません）
大学 URL はこちら→ <https://www.nitech.ac.jp/access/index.html>
- 3. プログラム** :
 - 13:00～13:30 受付
 - 13:30～13:35 開会の挨拶
 - 13:35～14:05 講演 1 : 中部エレクトロニクス振興会: 「エレクトロニクス・スクエア」事業のご紹介と活用方法
講演者 : 神田 昌司 氏
(中部エレクトロニクス振興会 エレクトロニクス・スクエア委員会 委員)
(株)デンソー セミコンダクタ基盤開発部 技術企画課)
 - 14:05～14:10 休憩
 - 14:10～15:40 講演 2 : ウェアラブル生体デバイスの EMC
講演者 : 王 建青 氏 (名古屋工業大学 電気・機械工学専攻 電気電子分野 教授)
 - 15:40～15:50 休憩
 - 15:50～16:50 未来通信研究センター 見学 (参考 : <http://cfcr.web.nitech.ac.jp/>)
 - 16:50～17:00 閉会の挨拶、連絡事項等
 - 17:30～19:30 交流会(希望者のみ 場所 : 世界の山ちゃん(鶴舞店))
- 4. 参加費用** :
 - 技術士会会員、中部エレクトロニクス振興会会員会社の方 : 1,000 円
 - 学生 (社会人学生および技術士 (補) でない方) : 無料
 - 一般 (会員外) : 2,000 円
 - 交流会 (希望者のみ) : 3,700 円
- 5. 申込み先**

申込みは 2 月 14 日 (水) までに、下記の Web フォームからお願い致します。
<https://forms.gle/5ZzMPFW8Tf2cp3K26>
キャンセルする場合は、メール : DIB_uketsuke@googlegroups.com
当日キャンセルは 携帯 : 090-2577-6160 (星野) 迄連絡ください。

【講師のご経歴と講演概要】

【講演 1】

題目：中部エレクトロニクス振興会:「エレクトロニクス・スクエア」事業のご紹介と活用方法

神田 昌司 氏（中部エレクトロニクス振興会 エレクトロニクス・スクエア委員会 委員）

（株）デンソー セミコンダクタ基盤開発部 技術企画課

【ご略歴】

1985 年明治大学大学院 電気電子工学専攻（修士）修了。日本電装株式会社（現：株式会社デンソー入社）
1994 年基礎研究所（株式会社ミライズテクノロジーズ）の研究企画に従事後、1996 年にデンソーアメリカにて北米の先端技術調査に従事。

2005 年半導体センサ事業のマーケティング、2007 年担当次長、半導体事業の事業戦略に従事。

2012 年人材育成、協会活動に従事。現在に至る。

【講演概要】

経営基盤の強化やビジネスチャンスの拡大などにつなげていくオンライン版ツール：「エレクトロニクス・スクエア事業」について、ご紹介いたします。

とりわけ、ネットワーク上でシステム開発メーカーとシーズサプライヤが相互に課題やソリューションを提供し合い議論できる場である「課題解決の部屋」の活用方法につきまして、詳しく解説いたします。

参照→ <https://www.eleshin.org/electronics/index.html>

【講演 2】

題目：ウェアラブル生体デバイスの EMC

王 建青 氏（名古屋工業大学 電気・機械工学専攻 電気電子分野 教授）

【ご略歴】

1991 年東北大学大学院博士課程修了。(株)ソフィアシステムズを経て、1997 年名工大。現在、名工大大学院 電気・機械工学専攻教授、未来通信研究センター兼任。電子情報通信学会環境電磁工学研究専門委員会委員長、エレクトロニクス実装学会電磁特性技術委員会委員長を歴任。

専門は EMC、生体医用通信。IEEE フェロー。

【講演概要】

バイタルセンサーと人体通信技術を組み合わせたウェアラブル心電計やウェアラブルロボット等のウェアラブルデバイスを紹介し、そのウェアラブルデバイスに対する外部電磁界からの電磁結合メカニズムを、コモンモードからディファレンシャルモードへのモード変換の観点から解説します。さらにこのウェアラブルデバイスの設計およびイミュニティ試験法についても紹介します。特に試験法の有用性については ESD 間接放電試験を用いて示します。

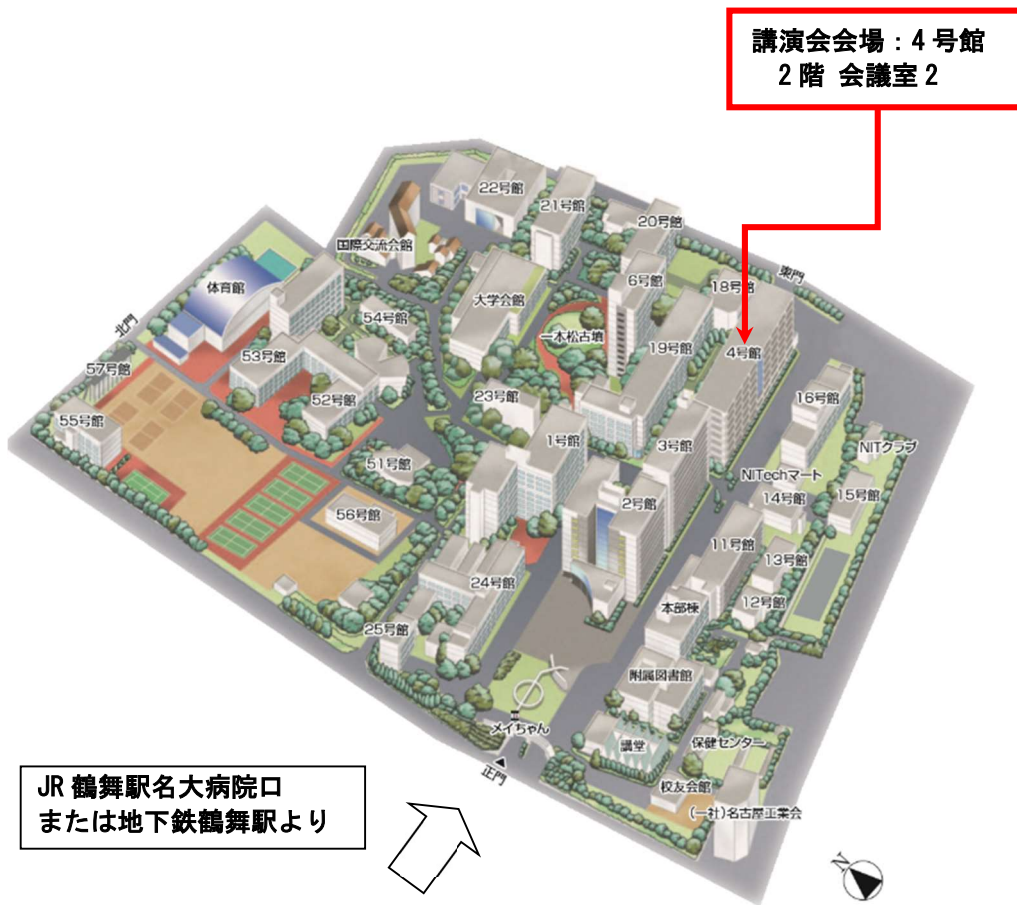
参考： <https://wlab.web.nitech.ac.jp/wp/>

会場案内

名古屋工業大学の構内案内図

正門内に構内案内看板があり、各施設の場所を確認頂けます。

【キャンパス地図】



JR 鶴舞駅名大病院口
または地下鉄鶴舞駅より

【広域地図】



引用 URL <https://www.nitech.ac.jp/access/index.html>